

2027年度

関西医科大学大学院看護学研究科
博士後期課程(博士)

学生募集要項 [夏期日程]

関西医科大学大学院 看護学研究科

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号

Tel: (072) 804-0205, 0207 (看護学部事務部直通)

E-mail: nursing@kmu.ac.jp (看護学部事務部代表)

看護学研究科博士後期課程学生募集要項

1. 募集人員

| 研究科名 | 専攻名 | 課程 | 募集人員 |
|--------|--------------------------|----------------|------|
| 看護学研究科 | 看護学専攻 (研究者コース・DNPコース) | 博士後期課程 (3年) | 5名 |

2. 出願資格

本学看護学研究科(以下、本研究科 という)の博士後期課程に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者とする。

<研究者コース>

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2027年3月までに修士の学位を取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣が指定した者（平成元年文部省告示第118号）・・・**出願資格審査必要**
- (6) 本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに24歳に達する者・・・**出願資格審査必要**

注) (5)、(6)の出願資格審査対象者の基準は次の通りとし、出願前に個別の出願資格審査を受けること。

- (ア) 研究論文「学術誌などに掲載された査読のある研究論文」3編以上、うち1編は筆頭著者であることが望ましい
- (イ) 看護職免許の有無は問わないが、看護学領域の研究テーマ・業績を有するもの

<DNPコース>

- (1) 専門看護師(CNS)、ナースプラクティショナー(NP)、または臨床看護教育者(CNE)の教育課程を修了しており、かつ臨地における実践のフィールドを確保できる者
- (2) CNS、NPまたはCNEの教育課程を修了していないが、科目履修等により(1)と同等の要件を満たすと認められかつ臨地における実践のフィールドを確保できる者・・・**出願資格審査必要**

※出願資格審査(該当者のみ)

(1) 申請方法

封筒に「看護学研究科出願資格審査書類(博士後期課程)在中」と朱書きし、申請書類を「簡易書留郵便またはレターパックプラス」で郵送して下さい(郵送のみ受付)。 **注)レターパックライトは不可。**
事前に志望する専門分野の指導教員(10、11ページ参照)と相談して下さい。

(2) 申請期間

2026年7月1日(水)～2026年7月3日(金)【**必着**】

(3) 申請書類送付先

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号
関西医科大学看護学部事務部

(4) 申請書類

<研究者コース>

- ① 出願資格審査申請書(本研究科所定の用紙をホームページよりダウンロードし作成すること)
- ② 最終学歴に関する証明書(修了証明書、修了見込み証明書、学位授与証明書のいずれか)
- ③ 研究論文の写し3編(1編は筆頭著者であることが望ましい)
- ④ 返信用封筒(定型封筒長形3号)〔宛名を明記、切手(含速達料金)を貼付すること〕

<DNPコース>

- ① 出願資格審査申請書(本研究科所定の用紙をホームページよりダウンロードし作成すること)
- ② 最終学歴に関する証明書(修了証明書、修了見込み証明書、学位授与証明書のいずれか)
- ③ これまでの看護実践報告(800字)(本研究科所定の用紙をホームページよりダウンロードし作成すること)
- ④ 返信用封筒(定型封筒長形3号)〔宛名を明記、切手(含速達料金)を貼付すること〕
- ⑤ 科目履修証明書(CNS、NPまたはCNEの教育課程を修了していないが、科目履修等によりCNS、NP、またはCNEの教育課程を修了と同等の要件を満たすと認められた者)

(5) 出願資格審査結果通知

出願資格審査の結果は、2026年7月17日(金)を目途として郵送にて発送予定です。結果通知後、出願を許可された者は、提出書類を出願締切日までに郵送下さい。

3. 願書受理期間及び提出書類

(1) 出願期間

2026年7月24日(金)～2026年8月7日(金)【必着】

注)出願期間後に到着した願書は受理しません。

(2) 出願方法

① 出願にあたっては、事前に志望する専門分野の指導教員(10, 11ページ参照)と相談して下さい。

※指導教員との事前面談は原則対面にておこない、対面が難しい場合は画面を通じて容姿が確認できるオンラインでの面談も可とします。

② 出願書類は一括して封筒に入れ、封筒の表に「大学院(博士後期)出願書類在中」と朱書きし、「簡易書留郵便またはレターパックプラス」で郵送して下さい(郵送のみ受付)。

注)レターパックライトは不可。

(3) 入学検定料

35,000円

入学検定料を(1)出願期間内に必ず受験者本人名義で振込下さい(手数料本人負担)。

金融機関:りそな銀行(0010)

支店名:守口支店(211)

預金種別:普通預金

口座番号:4667068

口座名義:学校法人関西医科大学 理事長 山下敏夫

(カナ):ガク/カンサイイカダイガク リジチョウ ヤマシタトシオ

(4) 出願書類送付先

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号

関西医科大学看護学部事務部

(5)出願上の注意事項

- ① 受理した出願書類は、理由の如何を問わず返還しません。
- ② 入学検定料は、払い戻ししません。

(6)出願書類(所定様式については、ホームページよりダウンロードのうえ、作成して下さい)

| 出願書類 | 作成方法 | 確認 |
|--------------------|---|--------------------------|
| 入学志願票(表) 履歴書(裏) | 本研究科所定の様式 入学志願票と履歴書は両面印刷して下さい。 | <input type="checkbox"/> |
| 志望理由書 | 本研究科所定の様式 <研究者コース> 博士後期課程で行いたい研究課題も含め800字(400字×2枚)以内にまとめる。 <DNPコース> 現在の臨地で考える課題とその変革方法について800字(400字×2枚)以内にまとめる。 | <input type="checkbox"/> |
| 研究業績調書 | 本研究科所定の様式 必要枚数をコピーして記載する。 研究業績がない場合、「なし」と記載して下さい。 | <input type="checkbox"/> |
| 受験票 | 本研究科所定の様式・出願3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向き 縦 5cm 横 4cm の写真を貼付(写真の裏面には氏名を記入しておくこと) | <input type="checkbox"/> |
| 受験票返信用封筒 | 定型封筒長形3号(ヨコ12cm×タテ23.5cm)に、返信先の住所・氏名を明記し、切手 (含簡易書留料金)を貼付したもの。 | <input type="checkbox"/> |
| 入学検定料振込書 | 入学検定料の振込証明書(またはATMによる振込票)を入学志願票裏面(履歴書下部) に貼付して下さい。インターネットバンキングを利用した場合には、振込完了の画面を 印刷のうえ貼付して下さい。 | <input type="checkbox"/> |
| 修了(見込)証明書(原本) | 大学院修士課程若しくは大学院修士課程に相当するものを修了(見込)したことを証明 するもの。又はこれに相当するもの 関西医科大学附属看護専門学校卒業生は卒業証明書 | <input type="checkbox"/> |
| 成績証明書(原本) | ・大学院修士課程若しくは大学院修士課程に代わる教育機関の長が証明したもの。 ・大学以外の教育機関で看護教育(看護師、保健師、助産師)を受けた者は、 当該校の成績証明書もあわせて提出すること。 | <input type="checkbox"/> |
| 免許証等の写し *免許を持つ者 | 看護師、保健師、助産師の免許証の写し (A4サイズに縮小すること) 関西医科大学附属医療機関に勤務する者は、在職証明書 | <input type="checkbox"/> |
| その他 | ・証明書等が現在の姓名と異なる場合、異動内容が確認できる戸籍抄本を必ず 同封して下さい。 ・外国語(英語)試験免除に該当する場合、検定結果を提出して下さい。 ・長期履修制度を希望する場合、(7)長期履修制度の内容を確認し、該当する必要書 類を提出して下さい。 | <input type="checkbox"/> |

【注意】外国の大学・大学院の証明書(修了証明書、成績証明書等)はその学校が作成した英文証明書または和文証明書を提出すること。

(7) 長期履修制度

長期履修制度に申請することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者です。

- ① 職業を有する者
- ② 育児、介護等の事情により、標準修業年限内で修了することが困難な者
- ③ 特別の事情により、標準年限内で修了することが困難であると看護学研究科長が認めた者

※当制度の利用を希望する者は、原則として**入学願書提出時に申請**しなければなりません。申請に必要な書類等は次のとおりです。

| | 必要書類 |
|--|--|
| ① 職業を有する者 | 在職証明書(学外勤務者のみ) ただし、在職証明書が発行できない場合は、職業を有することが確認できる書類 |
| ② 育児、介護等の事情により、標準修業年限内で修了することが困難な者 | 【育児による場合】 出産予定、又は出産したことを証明する書類 【介護による場合】 介護を必要とする内容の医師等の診断書又は証明書、及び介護を必要とする者との続柄を証明する書類 |
| ③ 特別の事情により、標準修業年限内で修了することが困難であると看護学研究科長が認めた者 | 当該事由を明らかにすることができる公的機関、病院等の証明書 |

※申請が許可された者の長期履修適応年数は、**博士後期課程5年**とします。ただし、6年を超えて在学することはできません。

※長期履修制度を適用した場合の入学金・学費については、看護学研究科教育要項の「関西医科大学大学院看護学研究科長期履修制度に関する規程」をご確認ください。

4. 試験日程・試験場所

(1) 試験科目

<研究者コース>

- ① 外国語(英語) ※辞書持込可(電子辞書不可)
- ② 看護共通
- ③ 面接

<DNPコース>

- ① 外国語(英語) ※辞書持込可(電子辞書不可)
- ② プレゼンテーション:これまで取り組んできたことと、これから取り組みたい課題について発表(20分)
- ③ 口頭試問

(2) 試験日程

| 年月日 | 時間 | 研究者コース | 配点 | 場所 |
|-------------------|-------------|-----------|------|----------------------------|
| | | 科目名 | | |
| 2026年 8月23日(日) | 9:30~11:00 | 外国語(英語) | 100点 | 関西医科大学 枚方キャンパス 看護学部棟 |
| | 11:30~13:00 | 看護共通 | 100点 | |
| | 14:00~ | 面接 | — | |
| 年月日 | 時間 | DNPコース | 配点 | 場所 |
| | | 科目名 | | |
| 2026年 8月23日(日) | 9:30~11:00 | 外国語(英語) | 100点 | 関西医科大学 枚方キャンパス 看護学部棟 |
| | 11:30~ | プレゼンテーション | 100点 | |
| | | 口頭試問 | — | |

(3) 注意事項

- ① 試験当日は受験票を必ず持参し、9時10分までに着席して下さい。
- ② 天候・公共交通機関の状況により、試験開始時刻を遅らせることがあります。
- ③ 試験開始後30分を超えて遅刻した場合は、受験を認めません。また試験時間中の退出はできません。
- ④ 電卓、電子辞書、計算機能及び辞書機能を備えた時計の持ち込みは禁止します。
- ⑤ 試験に際しては携帯電話等の電源は必ず切って、カバン等に入れて下さい。
- ⑥ 昼食は各自で持参して下さい。
- ⑦ 試験会場では駐車場が利用できませんので、公共交通機関を利用して下さい。
- ⑧ 大学敷地内はすべて禁煙です。

5. 選抜方法

入学試験(研究者コース)は、外国語(英語)試験、専門科目(看護共通)試験、面接試験の結果及び提出書類内容を総合的に判断して実施します。

入学試験(DNPコース)は、外国語(英語)試験、プレゼンテーション、口頭試問、及び提出書類の内容を総合的に評価して実施します。

以下に指定する英語検定試験のいずれかにおいて過去2年以内のスコアが下記である場合には本学の外国語(英語)の試験を免除します。該当する場合は、出願時に検定試験結果を必ず提出して下さい。

TOEFL(国際教育交換協議会) iBT 80点以上

実用英語技能検定(日本英語検定協会) 準1級以上

6. 合格発表

2026年8月28日(金)正午に本学ホームページに掲載します。また、合格者には、発表当日に合格通知書及び入学手続書類を発送します。電話による合否の問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続・学費等

(1) 入学手続期間

2026年8月28日(金)(合格発表当日)～2026年9月8日(火)【必着】

(2) 入学手続書類

- ① 誓約書
- ② 住民票記載事項証明書(外国籍の方も同様)

(3) 入学金・学費

| | 学 費 | |
|---------------|------------|------------|
| | 前 期(入学手続時) | 後 期(10月末日) |
| 入 学 金 (初年度のみ) | 200,000円 | — |
| 授 業 料 | 250,000円 | 250,000円 |
| 教 育 充 実 費 | 50,000円 | 50,000円 |
| 合 計 | 500,000円 | 300,000円 |

注1) 実習関連経費は自己負担となります。

注2) 関西医科大学看護学部卒業生、関西医科大学附属看護専門学校卒業生、関西医科大学附属医療機関勤務する者は入学金を減免(半額)、本学大学院看護学研究科博士前期課程修了者(修了見込み者を含む)は入学金の全額を免除します。

注3) 本学の貸与型奨学金制度、および学外の奨学金制度(日本学生支援機構等)があります。

(4) 入学辞退による納入金の返還

入学手続きを完了した者で、本学所定の「入学辞退届」により入学辞退を申し出た者に対しては、既納入金のうちから「入学金」を除く納入金を返還します。

申し出期日:2027年3月31日(水)17時

申し出先:関西医科大学看護学部事務部 電話 072-804-0205,0207(直通)

8. その他

(1) 受験上・修学上の合理的配慮について

病気・負傷、障がい等により、受験に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立って、受験上の配慮申請を行って下さい。受験上の配慮は不要でも、入学後に修学上の配慮を希望する場合は、必ず申請を行って下さい。

(2) 個人情報の取り扱いについて

出願に伴う個人情報は選考目的以外には利用しません。なお、入学者については、「教務関係(学籍管理、就学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料収納に関する業務」を行うために利用します。

9. 交通アクセス

受験会場:関西医科大学 枚方キャンパス 看護学部棟

京阪本線枚方市駅下車 徒歩5分

(お車でのご入構はできませんので、公共交通機関をご利用下さい。)

※附属病院と有料駐車場の間の道を直進して下さい。左側に看護学部棟があります。



10. 出願に関する問い合わせ先

関西医科大学看護学部事務部学務課

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号

Tel:072-804-0205, 0207(看護学部事務部直通)

E-mail :nursing@kmu.ac.jp(看護学部事務部代表)

※分野等についての問い合わせは、メール(nursing@kmu.ac.jp)にて受け付けます。

件名を【課程(博士後期)志望する分野(基盤看護など)】を記載して下さい。

事務取扱時間

平日 9時～17時

土曜日 9時～12時50分(第1、3、5土曜日)

※第2、4土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は閉室

看護学研究科博士後期課程(研究者コース)の概要

1. アドミッション・ポリシー

- ① 人の尊厳を尊重し、高い倫理観のもとで社会に貢献する意思と使命感を有する人
- ② 専門分野に精通した知識と柔軟な発想を有する人
- ③ 看護実践力を基盤とし看護を取り巻く環境で生じる現象を見極め、教育と研究を推進できる人
- ④ 生活する人の視点とグローバルな視野を併せ持ち、看護の革新を目指す人
- ⑤ 看護学の発展につながる研究力・教育力および革新する力を高めることへの強い意志を有する人

2. カリキュラムの編成

看護実践に根差した高い教育能力と研究能力を有する人材の育成のための科目を配置する。

専門分野として、基盤看護、広域看護、生涯発達看護、治療看護の4分野を設け、教育の一貫性を保持しながら専門分野の学びを深めることを目的としている。また、実践を革新するための研究課題に取り組み、自立した研究能力を養うため特別研究を配置している。

3. カリキュラム・ポリシー

- ① 看護学の学術的発展を教育・研究を通して担う力を修得するための基盤となる看護理論や研究法を学ぶ授業を配置する。
- ② 環境と健康との関連を、地域、国内、国際的視野で捉え、看護がなすべき方向や課題を洞察、革新する力を養うための科目を配置する。
- ③ 専門分野の学識を深めるため、専門分野には特論と演習を配置する。
- ④ 看護を取り巻く環境で生じる現象を多角的な観点から捉え自立した研究能力を培うため、多様な研究法の講義・演習を配置する。

4. ディプロマ・ポリシー

- ① 看護実践に不可欠な科学的・学際的な知識を基に看護実践を創造するための自立した研究活動、および次世代の看護を見据えた教育力をもつことができる。
- ② 国内外の専門家と協働して、人々の健康と生活にかかわる社会システムの構築および変革を行うことができる。
- ③ 看護が社会に果たすべき役割を自覚し、専門職としての高い倫理観と責任感を基に看護実践を革新するための開発を行うことができる。
- ④ 人々の生活の質(Quality of life: QOL)、社会の発展および平和に貢献することができる。

看護学研究科博士後期課程(DNPコース)の概要

1. アドミッション・ポリシー

- ① 人の尊厳を尊重し、高い倫理観のもとで現状の課題を捉え、課題の改善に貢献する意志と使命感を有する人
- ② 高度実践看護の専門分野あるいは臨床看護教育に精通した知識と柔軟な発想を有する人
- ③ 看護実践力を基盤とし看護を取り巻く環境で生じる現象を見極め、課題を見出せる人
- ④ 地域や組織で働く人の視点とステークホルダーの視野を併せ持ち、地域や組織の質改善(QI)を目指す人
- ⑤ 地域や組織の質改善(QI)につながる実践力・教育力および革新する力を高めることへの強い意志を有する人

2. カリキュラムの編成

科学的根拠に基づく知識と看護実践の統合力、地域や組織におけるステークホルダーとの交渉力とリーダーシップを養うための科目を配置する。高度実践看護師コース(7領域)と臨床看護教育者コースで対応可能な専門分野とする。医療および看護の質改善(QI)に貢献できる実装力を養うための実践応用志向プロジェクトを配置している。

3. カリキュラム・ポリシー

- ① 科学的根拠に基づく知識と看護実践の統合力を修得するための基盤となる組織論や論文クリティーク手法を学ぶ授業を配置する。
- ② 地域や組織におけるステークホルダーと交渉する力とリーダーシップを発揮する力を養うための科目を配置する。
- ③ ベストプラクティスを特定する力を養うため、専門分野に応じて特論と演習を配置する。
- ④ 実践応用志向プロジェクトを遂行する力を養うため、専門分野に応じて実習を配置する。

4. ディプロマ・ポリシー

- ① 看護実践に不可欠な科学的根拠に基づく知識と実践を統合し、ベストプラクティスの導入力をもつことができる。
- ② ステークホルダーと交渉し、合意を導くことで、地域や組織の質改善(QI)を行うことができる。
- ③ 専門職としての高い倫理観と責任感を基にリーダーシップを発揮し、質改善(QI)に向けたPDCAサイクルのプロセスを進めることができる。
- ④ 地域や組織のなかで医療および看護の質改善(QI)に向けた実践応用志向プロジェクトを実装することができる。

5. 指導教員の指導概要

<研究者コース>

| 分野 | 指導教員 | 概要 |
|----------|--------|--|
| 基盤看護分野 | 近藤 麻理 | グローバルな健康課題の中から課題を選択し、海外フィールドにおいて調査を行う研究に関する指導を行う。 |
| | 吉田 和美 | 看護基礎教育や継続教育の中で教育を受ける対象とその指導者の役割・支援に関すること、看護職の習熟段階に応じた指導方法・教育プログラム・キャリア開発に関する研究指導を行う。 |
| 広域看護分野 | 三木 明子 | 精神障害や精神健康の問題を抱えた対象者に対する支援ツールの作成や尺度開発、看護職のメンタルヘルス支援に関するプログラム開発など、産業精神保健や精神保健看護の分野のテーマに関する研究の指導を行う。 |
| | 大川 聡子 | 妊娠期からの母親・父親への支援、親の生き立ち(逆境的小児期体験、ACEs)を踏まえたかかわり、逆境的小児期体験を緩和するコミュニティづくりなど、地域における母子保健ならびに子育て支援に関する研究指導を行う。 |
| 生涯発達看護分野 | 未定 | 子ども自身が持つ力を高め、主体的に医療に参加するためのケアプログラム開発、医療を必要とする子ども・障がいのある子ども自身が自然災害に備えるためのプログラム開発、子ども看護における看護職の役割拡大の研究に関する指導を行う。 |
| | 伊東 美緒 | 高齢者を対象とした認知症看護(ユマニチュードなどのケア技法、認知症の人の混乱を防ぐ環境調整等)、終末期看護、およびアイトラッキングシステム等を用いた高齢者看護の教育方法に関する研究の指導を行う。 |
| | 野原 留美 | リプロダクティブヘルスの視点から女性の生涯にわたる健康と家族のウェルビーイングを探究し、健康課題の構造と支援のあり方に関する研究の指導を行う。 |
| 治療看護分野 | 瀬戸 奈津子 | 糖尿病、慢性心不全、慢性呼吸器疾患、炎症性腸疾患等とともに生きる成人・高齢者の慢性疾患看護モデル、および外来看護に関する援助指針作成等の研究指導を行う。 |
| | 白井 由紀 | がんを有する患者・家族のQOLの維持・向上を目指したケアに関する研究指導を行う。とくに、がん患者-医療者間のコミュニケーション向上のためのプログラム開発や臨床実装を視野に入れ、がん看護、緩和ケア、サイコオンコロジーの視点から研究指導を行う。 |
| | 宇都宮 明美 | クリティカルケア領域における重症化予防・早期回復への援助に関する介入研究、意思決定支援、end of life care、倫理的課題に関する研究指導を行う。 |

※一部変更する可能性があります

<DNPコース>

| 分野 | 指導教員 | 概要 |
|----------|--------|--|
| 基盤看護分野 | 吉田 和美 | 現任教育における教育システム、教育研修、教育方法について理論やエビデンスを活用した教育実践の質改善に関する指導を行う。 |
| 広域看護分野 | 三木 明子 | 精神保健看護分野における現場の課題(例:自殺リスクの管理など)に対し、エビデンスに基づいた介入やメンタルヘルスの評価といったケアの質改善等に関するプロジェクトの作成、実施、評価の指導を行う。 |
| 生涯発達看護分野 | 伊東 美緒 | 病院や介護施設、在宅において高齢者ケアに従事する学生が、勤務してきた臨床の場の高齢者ケアのQuality Improvementを目的とするプロジェクトの指導を行う。入院中のADL保持のためのプログラム構築や認知症の人の混乱を軽減する職員教育など、実践可能なテーマを設定する。 |
| 治療看護分野 | 瀬戸 奈津子 | 慢性疾患看護、あるいは、その拠点となる外来看護の場において、医療・看護の質改善(QI)を課題とした実践応用志向プロジェクトの遂行を支援する。 |
| | 白井 由紀 | がん医療におけるコミュニケーションや意思決定に関する課題についてQuality Improvementを目的とするプロジェクトの指導を行う。学生のフィールドにおいて実践可能なテーマを設定する。 |
| | 宇都宮 明美 | クリティカルケア(集中治療・救急・周術期)領域において、患者・家族ケア、ケアシステム、医療提供体制などの課題に対して、エビデンスを活用し、質改善活動を支援する。例えば、苦痛緩和やEnd of Life Care、意思決定支援、多職種チーム活動の推進などが該当する。 |

※一部変更する可能性があります